

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人権と法		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
山崎 英壽	講師控室	eiji.yamazaki		Teams 授業中に対応	
授業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本において憲法改正が政府の側から主張されているが、このことがこの国において立憲主義が定着していないことを示している。立憲主義の原点は人権保障と権力分立であるが、本講義では人権保障について学ぶことにより、社会で起こっている人権問題の解決に取り組む近代的個人になることを目的とする。 ・表現の自由、政教分離、生存権などの人権理論を紹介し、それが現実の裁判ではどのように扱われているかを検討することによって、人権の理解を深める。 ・人権について課題学習と配信動画授業により理解し、毎回の課題レポートにコメントする形でフィードバックし、さらに同時双方向型授業で意見交換を行うことで理解を深める。 				
学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> ・高校までの教育課程で人権について学んだことが基礎となるので、公民、現代社会、政治経済の教科書を見直しておくこと初回の講義の導入に役立つ。 ・各回の授業時にはノートを取り、教科書の記述を確認する作業が理解には必須である。 				
教科書	憲法要諦/ 著：山崎英壽/ 文化書房博文社/ (2018)				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人権の重要性について説明人権することができる。			HSU(1)(2)	
②	社会で起こる出来事の問題点を指摘することができる。			HSU(5)	
③	人権問題の解決の見通しをつけることができる。			HSU(5)	
④	人間存在の多様性を認識し他者を尊重する態度を身につける。			HSU(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	憲法と言う言葉の意味について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：同時双方向型授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書と資料に基づきレポート提出： 憲法とはいかなる法規範なのかについて理解できたことを述べなさい	6	
2	人権の歴史と概念について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：同時双方向型授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書と資料に基づきレポート提出： 人権とはいかなる権利なのかについて理解できたことを述べなさい	6	
3	私人間効力について学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：同時双方向型授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書と資料に基づきレポート提出： なぜ私人間効力について考えなければならぬのか説明しなさい	6	
4	法人の人権について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：同時双方向型授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書と資料に基づきレポート提出： 人権主体について考えたことを述べなさい	6	
5	信教の自由について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：同時双方向型授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書と資料に基づきレポート提出： 信教の自由を保障するにあたって気を付けなければならないと思った事柄について述べなさい	6	
6	政教分離について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：同時双方向型授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書と資料に基づきレポート提出： 日本の政教分離裁判の問題点について述べなさい。	6	
7	表現の自由の意義と規制について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：同時双方向型授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書と資料に基づきレポート提出： 表現の自由と民主主義の関係と検閲の危険性について述べなさい	6	
8	知る権利と報道の自由について学習する。	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4	
9	職業選択と婚姻の自由について学ぶ	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4	
10	生存権の理論について学ぶ	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4	
11	生存権の実践と朝日訴訟について学ぶ	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4	
12	教育を受ける権利について学ぶ	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4	
13	法の下での平等について学ぶ	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4	

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

14	新しい権利について学ぶ	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4			
15	平和的生存権について学ぶ	同時双方向型授業	配布資料を事前に読んでおくこと	4			
試	学期末レポートで行う 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	課題	合計
		0	50	0	0	50	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	20	40
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポート作成には、文章力、日本語表現力が重要である。講義を理解していることを正確に伝達することが必要。 人権理論とその実例である判例を理解しているか、人権が保障される社会の構築のために何が重要であると考えているか、現代社会の問題の中に人権問題があることを理解できているかが試される。				レポート提出後に問題解説をする。試験後1週間をめどに採点講評を掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
課題	①	✓	各授業項目の中で何が問題かを把握していること、基本的な知識が定着していること、自分の考えを明確にできていることが試される。				課題提出後一週間以内にコメント付きで返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>人権は憲法学の一分野であるから、授業内容は法学部で学習する内容とほぼ同じである。医療・公衆衛生に興味を持っている学生には関心の薄い分野であるかもしれないが、国民の健康を守ることも広い意味での人権である。人間が大切にされる社会をいかにつくるかということに興味を持って取り組む学生の履修を歓迎します。</p> <p>Teamsを使った遠隔授業を行いますから、各自の通信環境に注意してください。今後新型コロナウイルス感染症の状況など情勢の変化によって、再度シラバスの変更の可能性があります。</p>							